

社会で活躍できるスペシャリストの育成

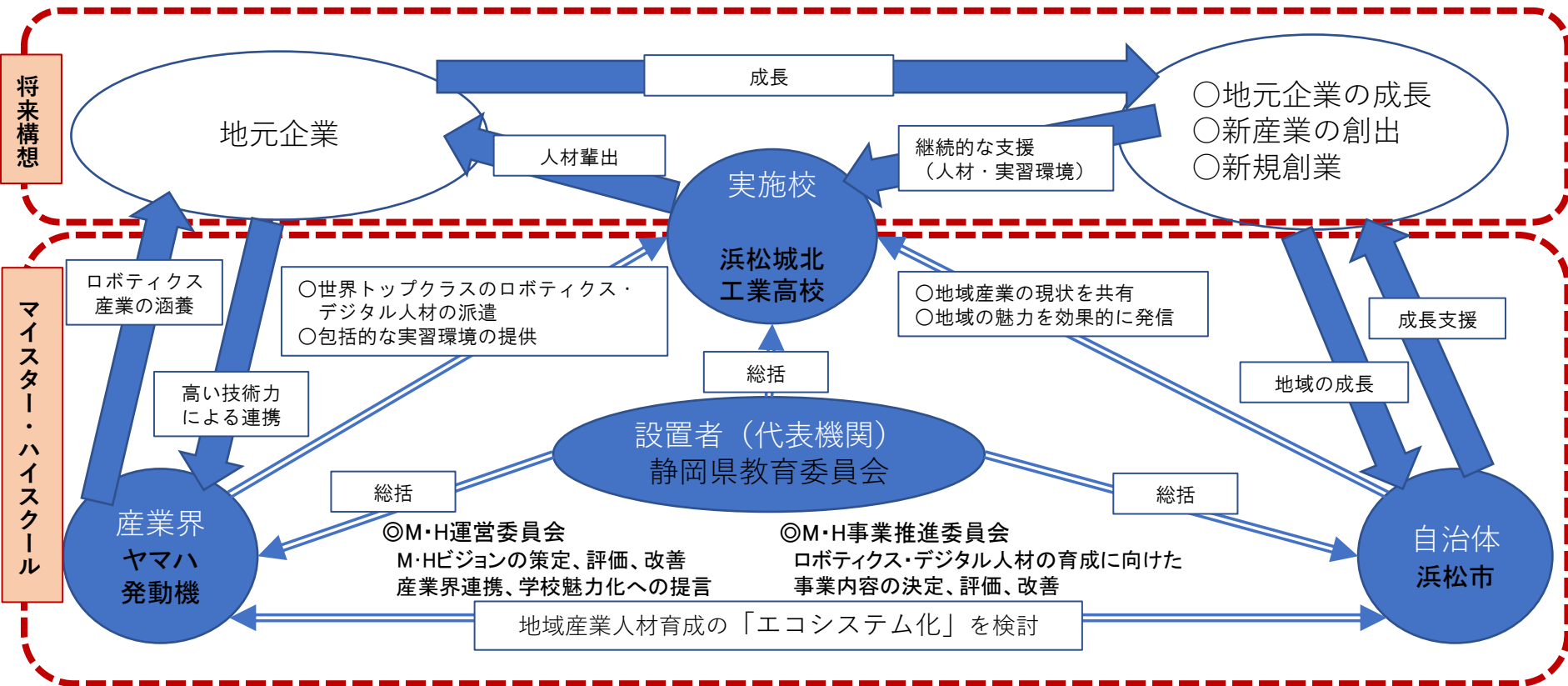
～ やらまいか精神を取り入れた浜松型デジタル人材の育成プロジェクト ～

浜松市“やらまいか”総合戦略

基本目標 I 若者がチャレンジできるまち

数値目標① 満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合 2019年度:24.6% ⇒ 2024年度:30.0%

数値目標② 市内総生産額 2016年度:3兆0222億円 ⇒ 2024年度:3兆3000億円以上



	取組年度	R3/2021	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025以降
		0年目(実績)	1年目	2年目	3年目	4年目以降
A	事業	産業界との連携進化 (県教委：3年間)	マイスター・ハイスクール (文科省：3年間)			
B	ステージ	準備期	基礎期	実践期	発展期	深化期
C	管理機関 県教委 ヤマハ発動機 浜松市	・M・H申請(県教委) ・事業の企画立案、必要な支援 ・翌年度の人事管理面の準備 (CEO及び産業実務家教員の 人事上の手続き等)	・委託契約締結(県教委) ・事業の進捗管理、必要な支援 ・CEOは非常勤、産業実務家教員は 常勤配置 ・実施報告書の作成	・CEOは管理職として常勤配置 を検討、産業実務家教員は常勤配置		
D	■M・H運営委員会 【メンバー】 教育長、ヤマハ発動機社 長、浜松市長、校長等		・CEOと産業実務家教員を選任 ・M・Hビジョンを策定	・M・Hビジョンの評価、改善 ・事業の進捗管理		
E	■M・H事業推進委員会 【メンバー】 CEO、産業実務家教員、 高校教育課長、ヤマハ発 動機管理職、浜松市産業 部次長、校長等	・県教委高校教育課、ヤマハ発動機 ロボティクス事業部、浜松市産業 部、学校による協議 ・産業連携アドバイザーの選任 ・ロボット関連経営者との意見交換会 ・コミュニティ・スクール(R2~)	・CEOを中心に、M・Hビジョンに基 いたロボティクス・デジタル人材の 育成に向けた事業内容の決定、評 価、改善	・新しい教育課程の検討 ・ロボット産業に係る学校設定教 科・科目等の検討・準備 ・新学科の検討	・PDCAにより学校設定教科・科目 の改善を検討 ・新学科の設置可否の判断	・学校運営協議会が役割を引き継ぐ
F	教育課程等 (上記D、Eの成果)		<1年生が新学習指導要領>	<1、2年生が新学習指導要領> ・「ロボティクス実習」の実施(2 年次)	<全学年が新学習指導要領> ・「ロボティクス実習」(2年次) 及び「ロボティクス概論」(3年 次)の実施	・新しい教育課程の実施 ・新学科設置を行う場合はR7年度 以降を想定
G	CEO		・非常勤(週1回8時間) ※ヤマハ発動機が人選 ・M・H事業推進委員会の委員長 に就任、校長とともに事業総括 ・CEO講話の実施	・管理職の一人として常勤配置 を検討 ・浜松市産業部、浜松地域イノベ ーション推進機構、ヤマハ発動機で、 連携委員会の設置に向けた準備	・4年目以降に向けて、連携委員会 に格上げ	・連携委員会の中から選任された連 携ファシリテーターが校長とともに 4年目以降のM・H事業を総括

取組年度	R3/2021	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025以降
	0年目(実績)	1年目	2年目	3年目	4年目以降
H	産業実務家教員	<ul style="list-style-type: none"> 特別教諭(教員定数内で産業界から教諭を招請する静岡県独自の任用制度)としてヤマハ発動機から派遣され、退職後も本校で非常勤講師として2人が勤務 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤(定数外) <ul style="list-style-type: none"> ※ヤマハ発動機が人選 「課題研究」を担当(T2として4科全てに関わる) 新しい学校設定教科・科目の検討・準備 講話「新しいものづくり(統合ものづくり)への誘い」 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤(教員定数外) 「課題研究」を担当 「ロボティクス実習」を担当 新しい教育課程の検討・準備 講話「統合ものづくりの学び」 	<ul style="list-style-type: none"> 特別教諭(定数内)の配置 新しい教育課程の科目等を担当
I	M・H校内委員会	<ul style="list-style-type: none"> ビジョン検討委員会(R2年度) M・H検討委員会(管理職と4科長による協議) 学校改善プロジェクトチーム(上記委員会への提案、協力) 	<ul style="list-style-type: none"> 教頭を長とし、CEO、産業実務家教員を含む15人程度で組織 運営業務(講師招請、発表会運営、4科連携、各種事務手続き、広報等) 工業4科だけでなく、全教職員が関わる全校体制の構築 		<ul style="list-style-type: none"> 連携ファシリテーター、特別教諭、管理職、4科長等をメンバーとしてM・H校内委員会を継続
J	①専門性の向上 ＜ロボティクス・デジタル人材育成にむけた学習内容の更新＞	<ul style="list-style-type: none"> ロボットアイデア甲子園への参加 ヤマハ発動機ロボティクス事業部の見学(職員) 	<ul style="list-style-type: none"> ロボット関係企業と連携した実習(生徒・職員) ＜意欲の高い者の顕在化＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ＜意欲のある者の掘り起こし＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ＜意欲のある者の育成＞
	②各科連携 ＜部活動を先導隊とする統合ものづくりの挑戦＞	<ul style="list-style-type: none"> 学科を代表する4部活動+生徒会による協議 部活動留学 4部活動連携のものづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ＜まずは意欲の高い者から＞ 	<ul style="list-style-type: none"> 各科連携の体制を整備(部活動連携から4科連携へ) 周囲生徒の引き込み効果の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 各科連携の実践(学科を超えた課題研究テーマの設定やものづくりの実践等) 統合ものづくりの実践手法の確立
	③製造業を知る ＜②の挑戦が実現されている現場を体験する＞ ＜②の挑戦を通して世界に貢献している姿を実感する＞	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導に基づく企業研究 インターンシップ(2年) 産業見学(1、2年) ISO9001、14001、27001等の研修 県教委主催の海外インターンシップへの参加(R元年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業経営者、浜松市産業部等による講演 地元企業等と連携した高校生向き起業プログラムの作成 地元の海外進出企業や海外赴任しているOBとのオンライン会議(日本式ものづくりの世界貢献を実感) 	<ul style="list-style-type: none"> 起業プログラムの実施 本校独自の海外インターンシップの検討(英語科をはじめ、共通教科でも関連分野を学習)(日本式ものづくりの手法を獲得) 	<ul style="list-style-type: none"> 本校独自の海外インターンシップの実施(日本式ものづくりを実体験)